

【学校】鎌倉市内の子ども関連施設における読書環境アンケート集計結果2024

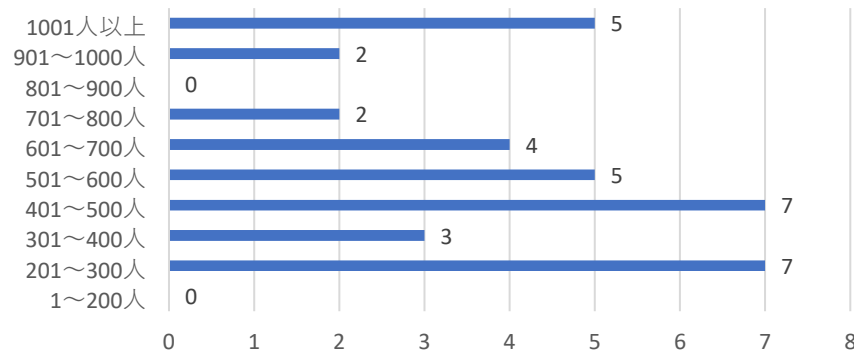
第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画を推進していくにあたり、子ども関連施設の読書環境を把握するため、令和6年(2024年)5月にアンケートを実施しました。

鎌倉市内の小中学校、高校の39校に依頼し35校から回答を得ました。(FAX24件、e-kanagawaでの回答11件) 回答率は89.7%、回答者のうちe-kanagawaでの回答率は31.4%でした。ご協力ありがとうございました。子どもの読書環境について定点観測し、今後の読書環境整備に役立てます。

2023年度の集計結果はこちら



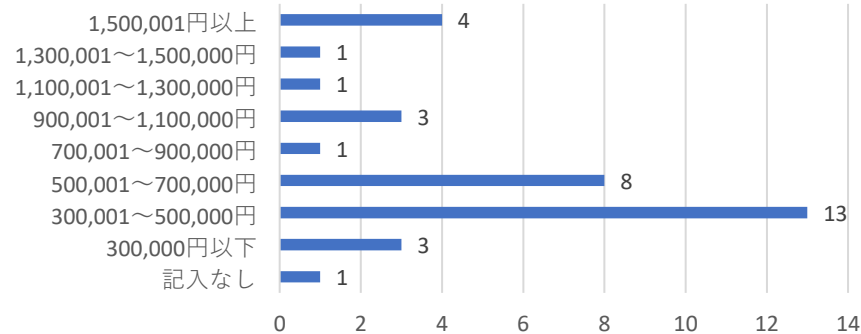
在校生の人数



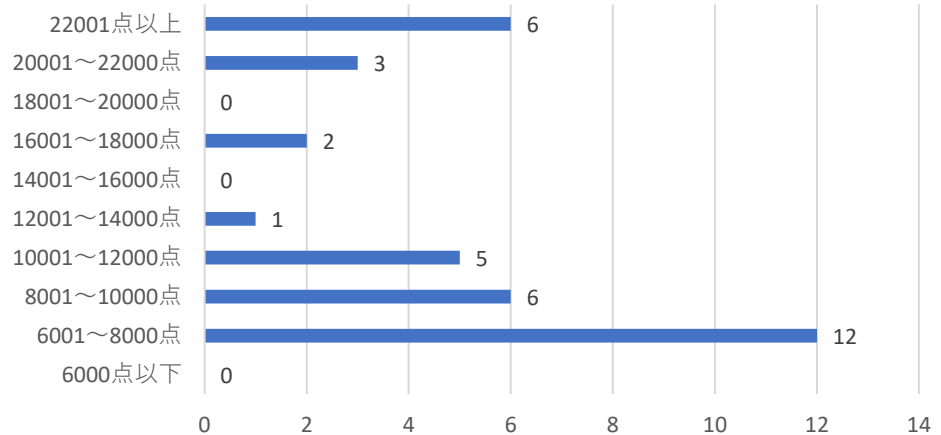
公立小学校16校、公立中学校9校、県立高校4校、私立小学校1校、私立中学・高校5校からの回答です。

※単位について記載のない数値は学校数を表しています。

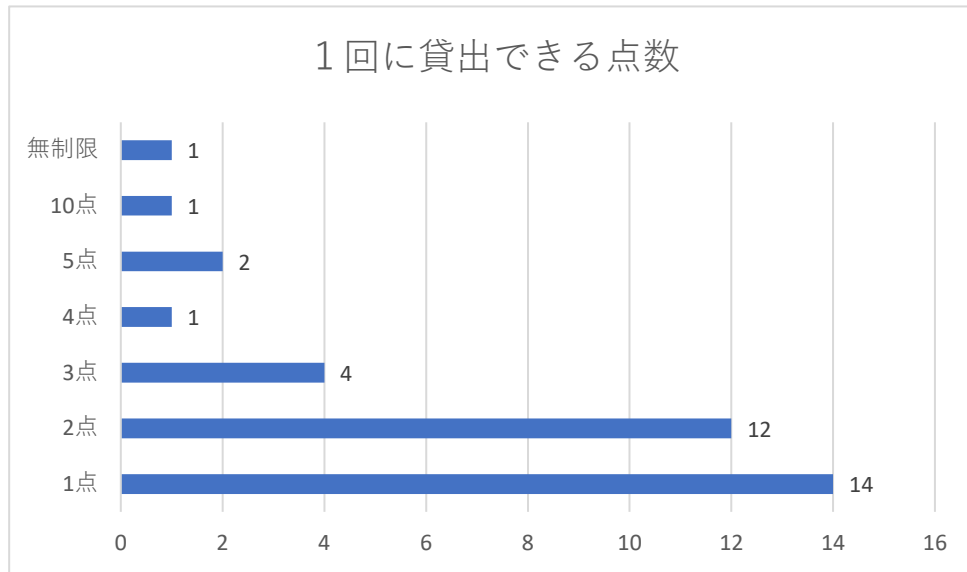
資料費



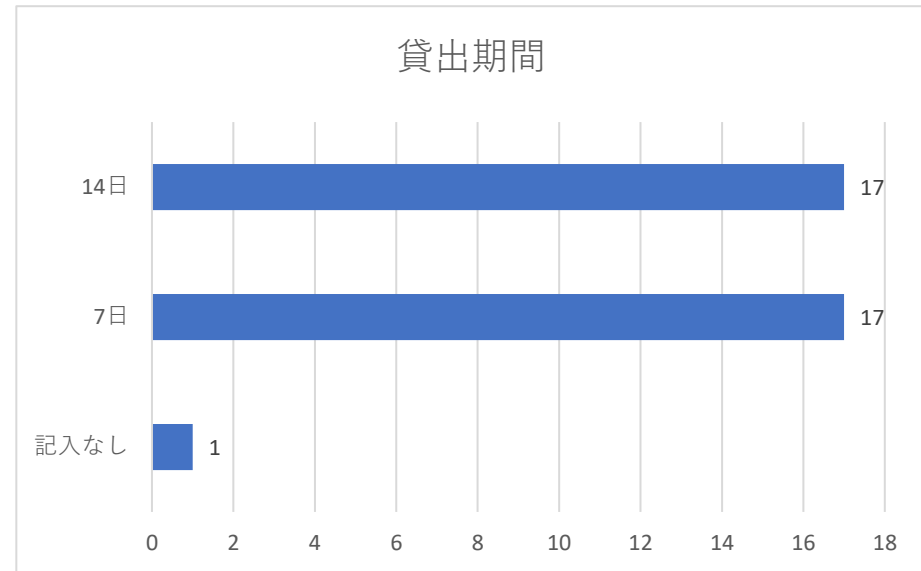
所蔵点数



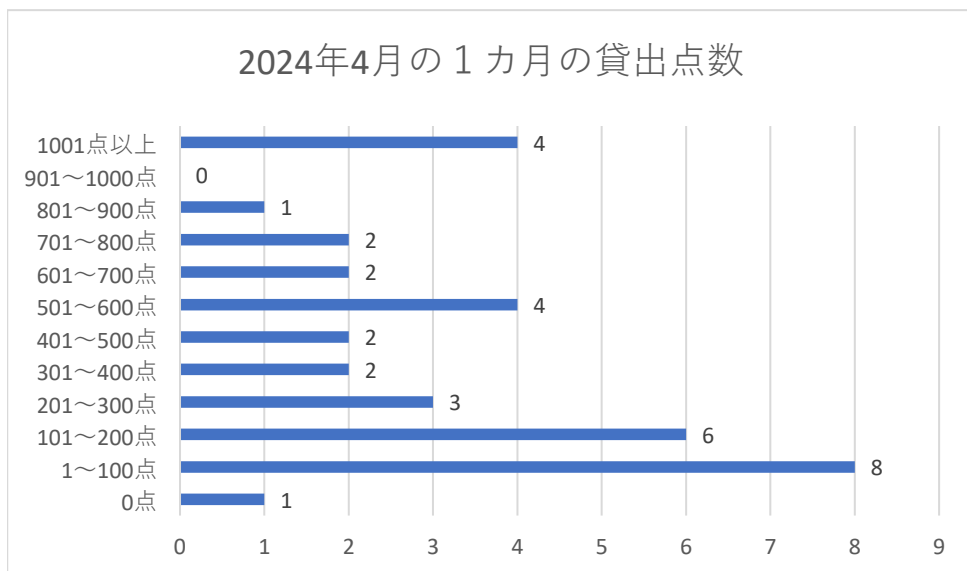
1回に貸出できる点数



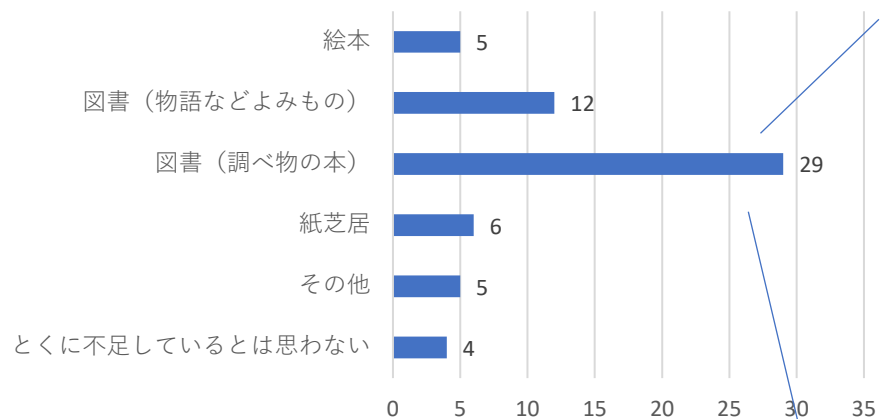
貸出期間



2024年4月の1カ月の貸出点数

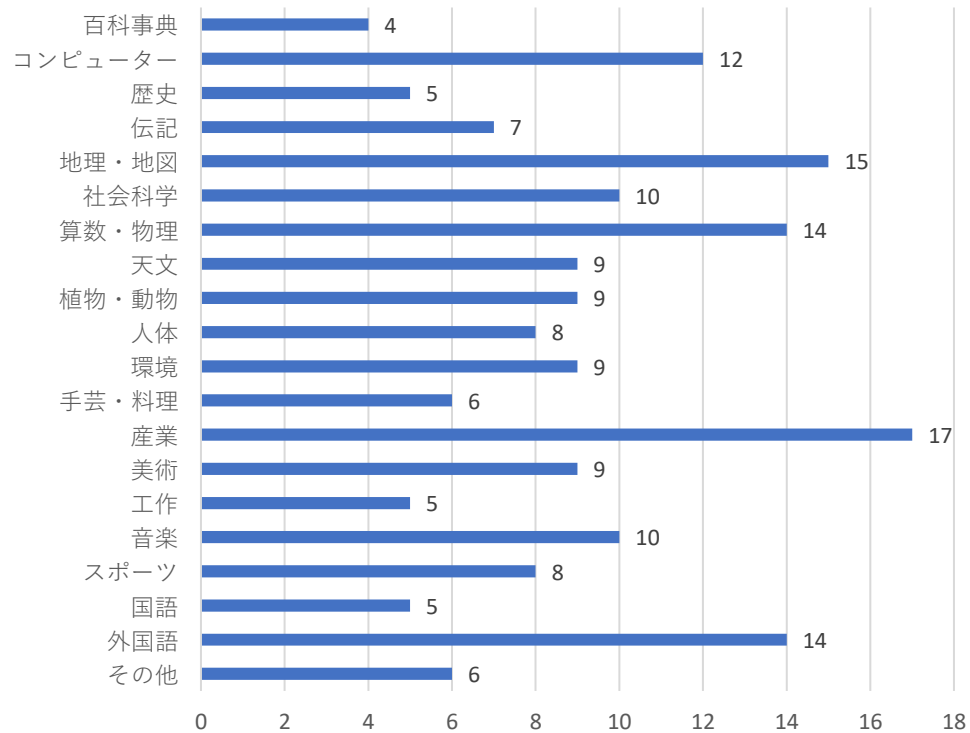


不足している資料

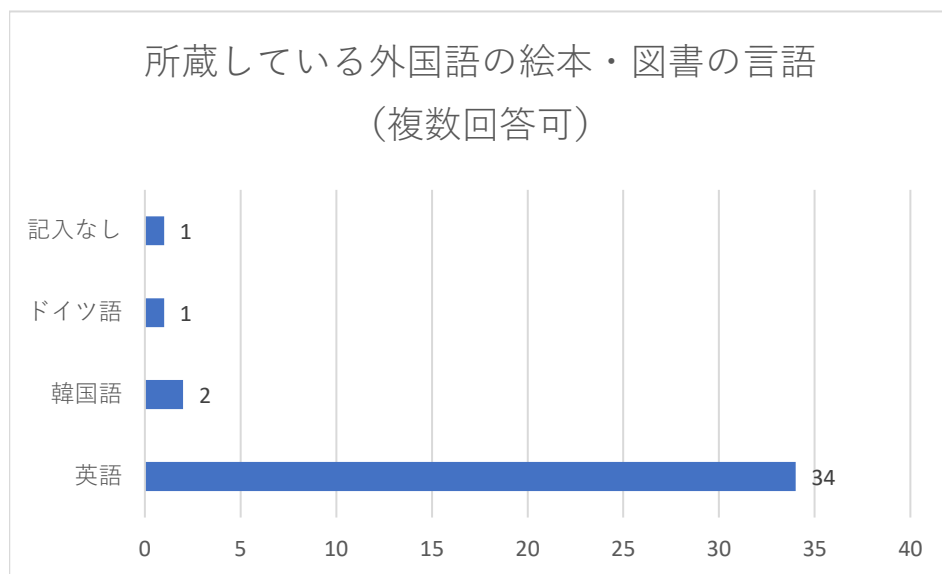
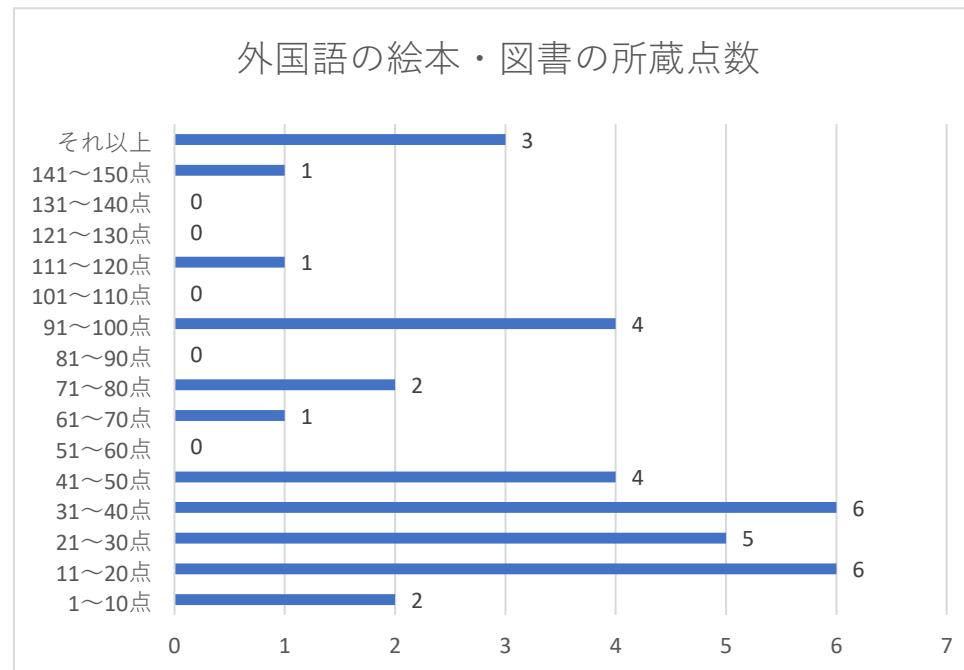
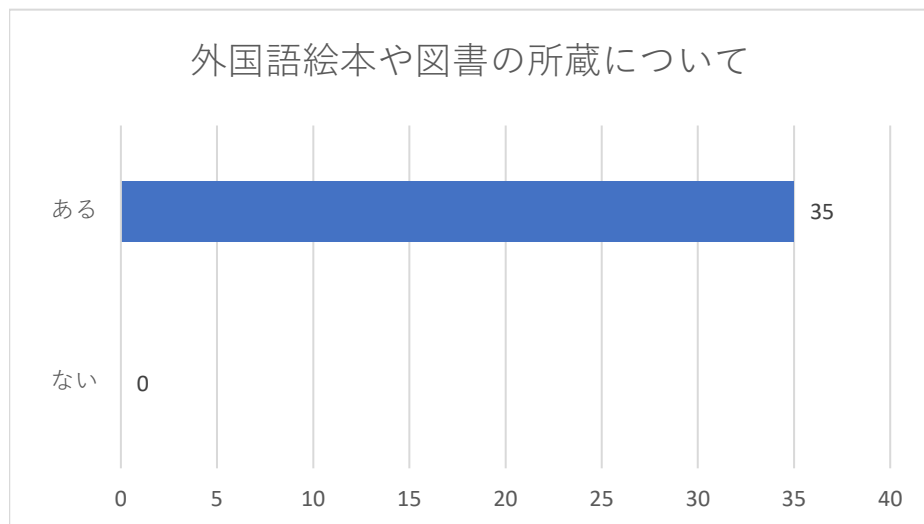


(内訳)

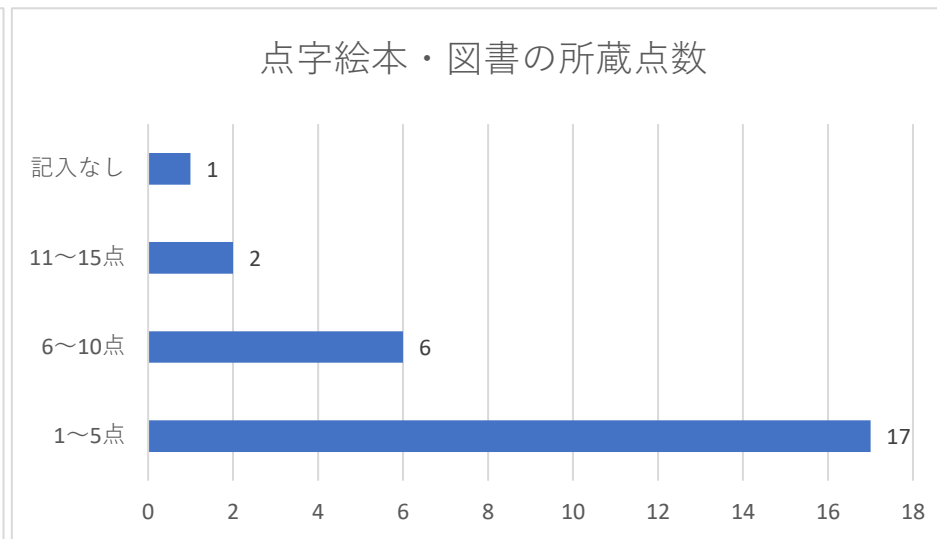
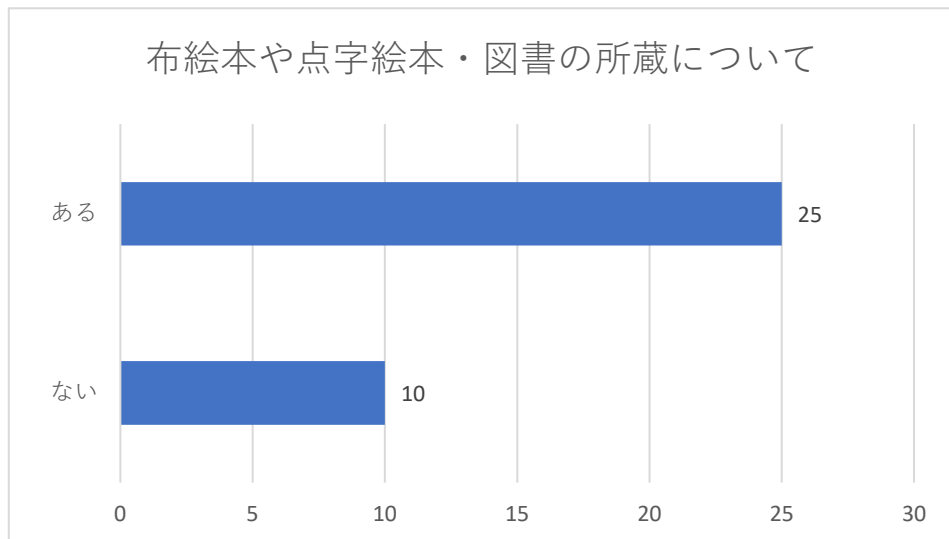
調べ物の足りない分野



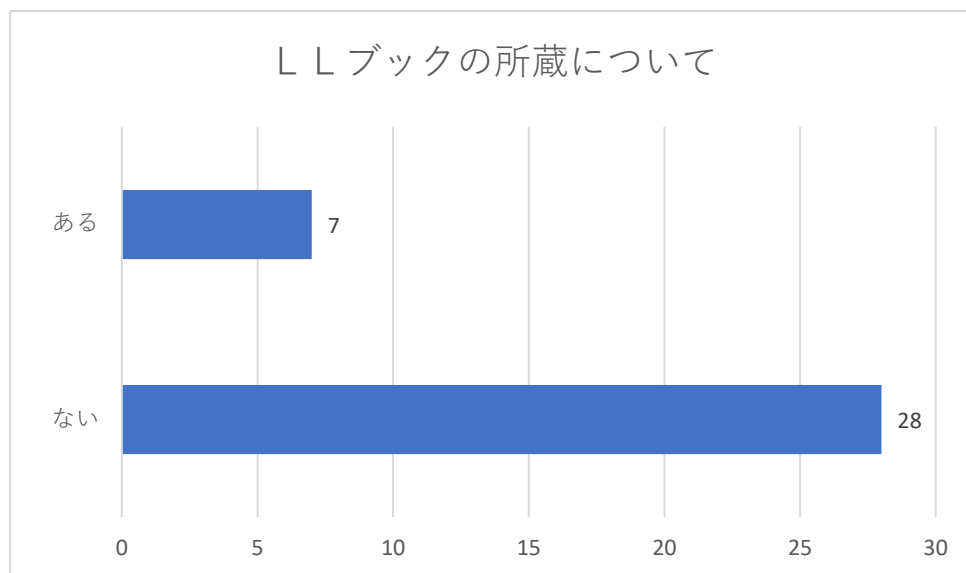
【読書バリアフリーについて】



回答のあったすべての学校で外国語の絵本・図書を所蔵しています。
所蔵点数が2000点の学校もありました。
言語はほとんどが英語のみですが、韓国語・ドイツ語の絵本・図書を所蔵している学校がありました。



※布絵本を所蔵している学校は1校で、所蔵点数は1点のみ。

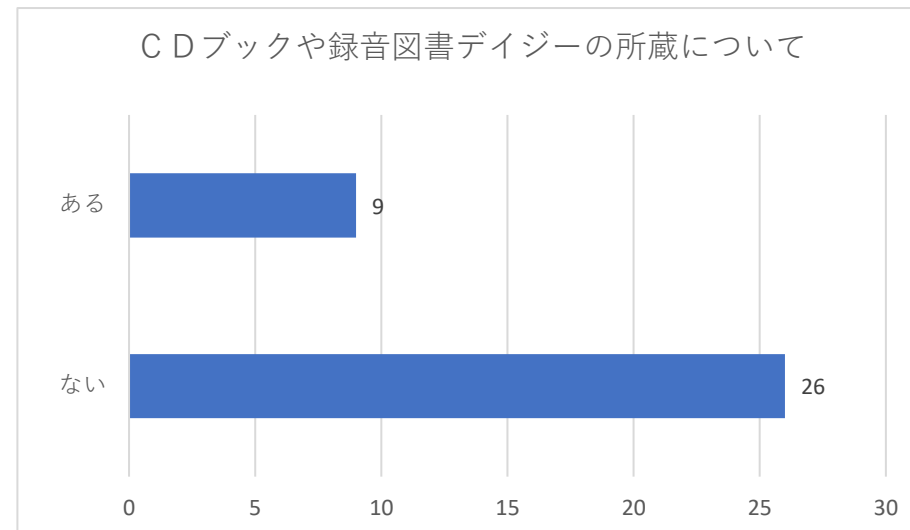
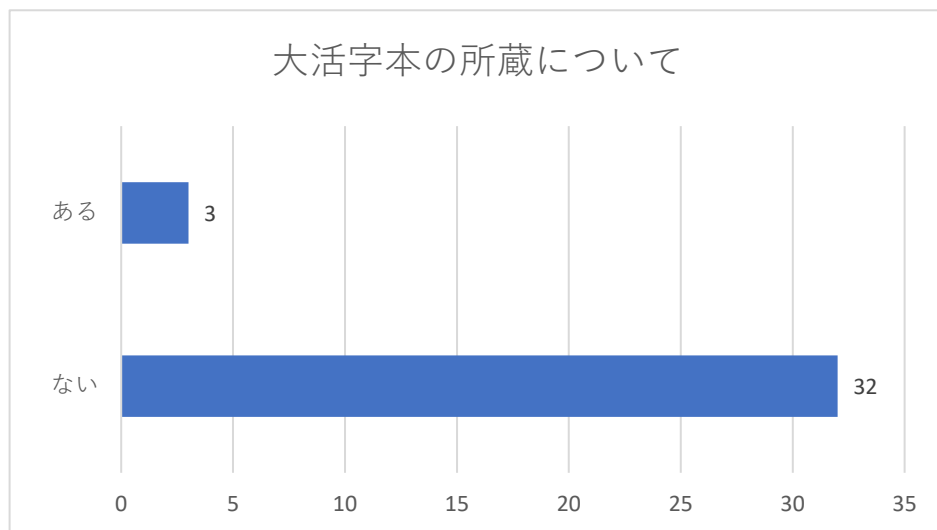


昨年度より回答学校数が増えているので、単純な比較はできませんが、昨年度LLブック所蔵校は4校だったので、増えています。

点字絵本・図書についても、所蔵校、点数ともに増えています。

※LLブックを「ある」と回答した学校の所蔵点数は1点(3校)、2点(1校)、4点(1校)、5点(2校)です。

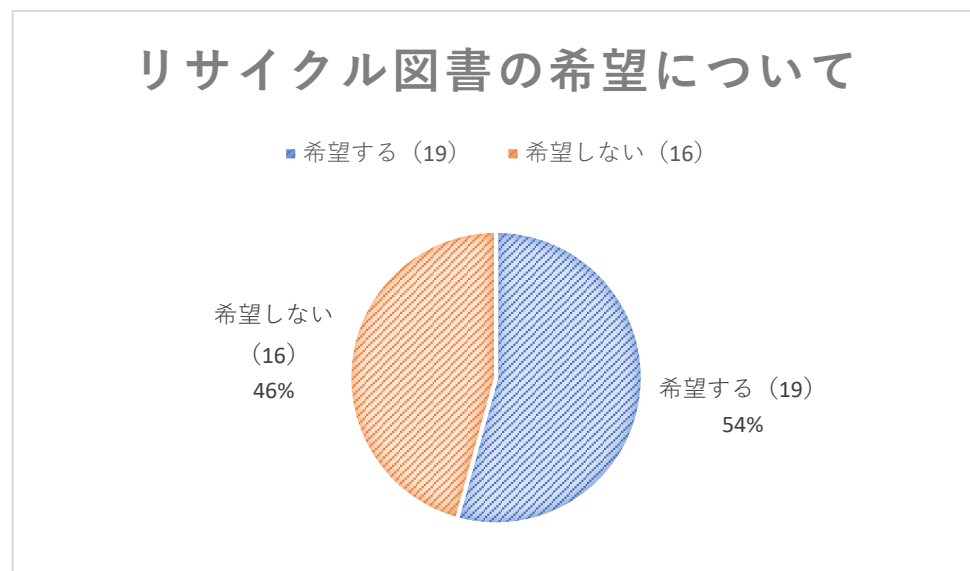
※「LLブック」とは、スウェーデン語で「やさしく読みやすい本」という意味。ピクトグラム(絵)を使ったり、短い言葉で書かれたりしている本。



※大活字本を「ある」と回答した学校の所蔵点数は2点、19点、記入なしでした。

※CDブックや録音図書デジターを「ある」と回答した学校の所蔵うち、CDブックの所蔵点数は、10点(2校)、13点、66点、200点でした。

録音図書デジターの所蔵点数は、1点(2校)、10点でした(記入なしが2校あり)。



昨年度大活字本所蔵校は1校、CDブックは2校、録音図書デジターの所蔵校はありませんでした。

単純比較はできませんが、バリアフリー図書を所蔵する学校が増えているようです。

※昨年度のリサイクル図書の譲渡会が好評でしたので、今年度も、深沢図書館で実施予定です。
ご希望の学校へお知らせいたします。

障害のある子や海外にルーツのある子へ、どんな読書をサポートをしているか。

(障害のある子へのサポート)

- ・デージーゆめ文庫を利用している。-2
- ・リーディングトラッカーの貸出-2
- ・図書的时间サポート
- ・朝読用よみものセットや、まわしよみ新聞のための小学校版の調達(中学校にて、支援級のために小学生新聞を調達)。
- ・絵本や写真入り、図鑑を入れている。
- ・特別支援級の児童が興味を持ちそうなわかりやすい乗り物の本を購入している。
- ・支援級では、週に1時間図書の時間があり、大型絵本や紙芝居、しかけ絵本などを、内容をやりとりしながら、読み聞かせしている。絵がわかりやすく、簡潔な文章の本を図書館からお借りできて助かっている。
- ・車いすの生徒がどの書架も見られるよう、通路を広くしている。
- ・障がいのある児童に読み聞かせ、紙芝居の貸出(公共図書館も利用)。

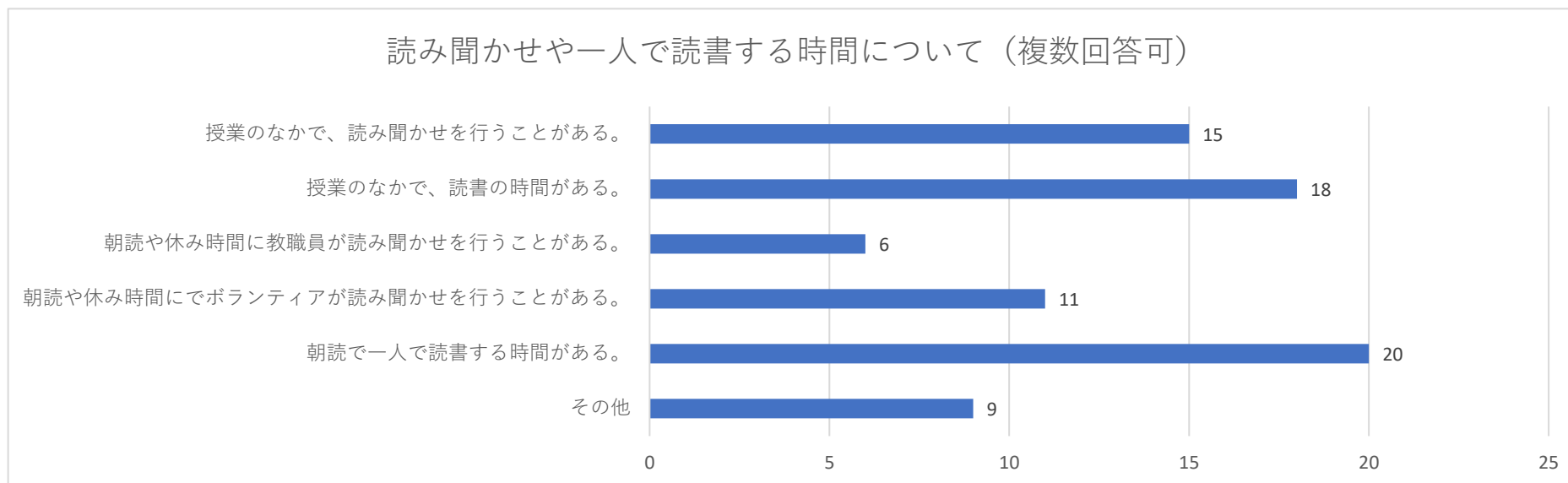
(海外にルーツのある子へのサポート)

- ・海外にルーツのある児童へ読み聞かせ、英語で書かれた本の紹介。
- ・継続的なサポートではないが、英訳のついた本や絵、写真で楽しめる本のおすすめ。
- ・日本語多読の本とレインボー英和英辞典を貸出。
- ・母語の蔵書(英語圏)。

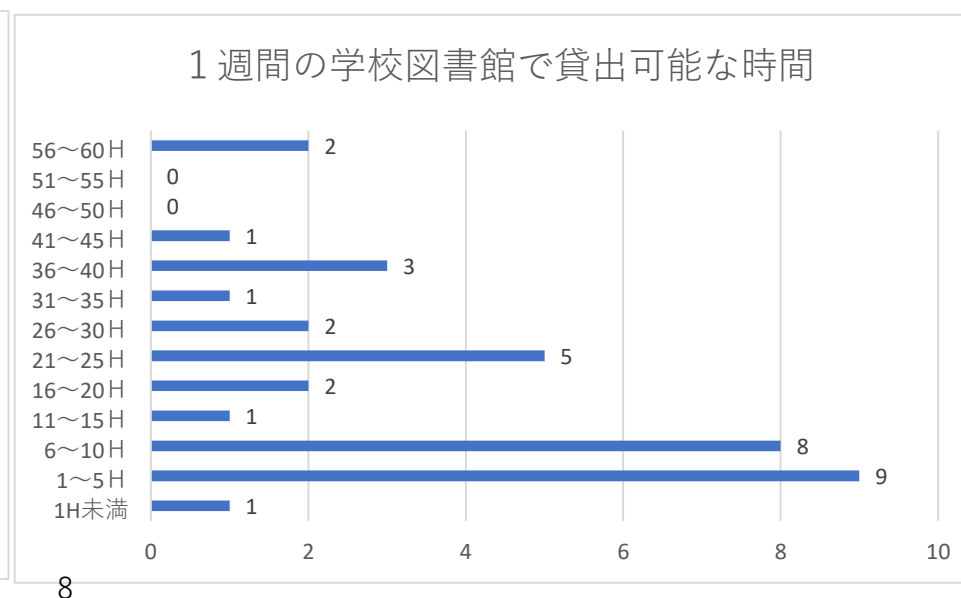
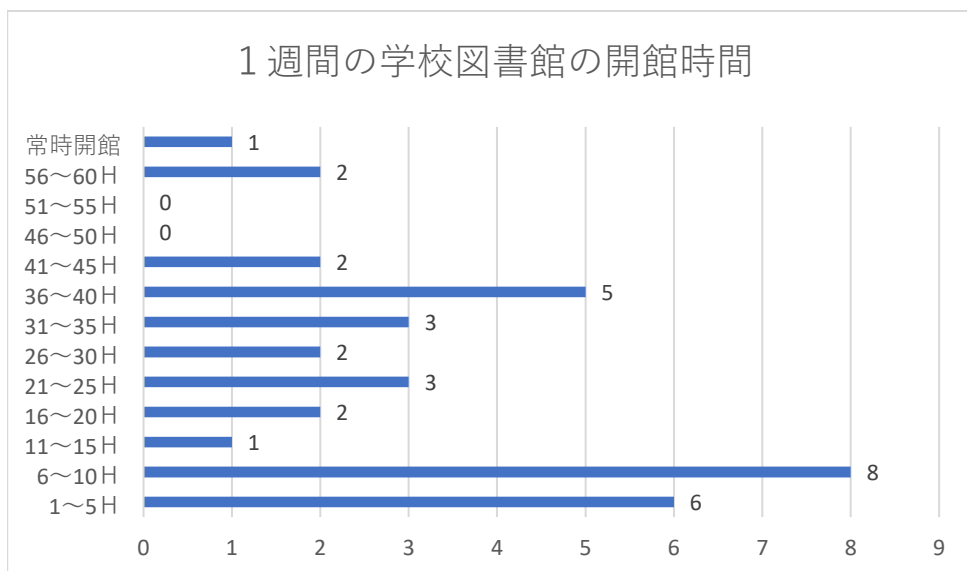
※該当の児童・生徒がいないため、特に何もしていないという学校も多くありました。

前の設問とも関連しますが、デージーを導入している学校が増え、特別支援学級の児童・生徒へのサポートが充実しているようです。

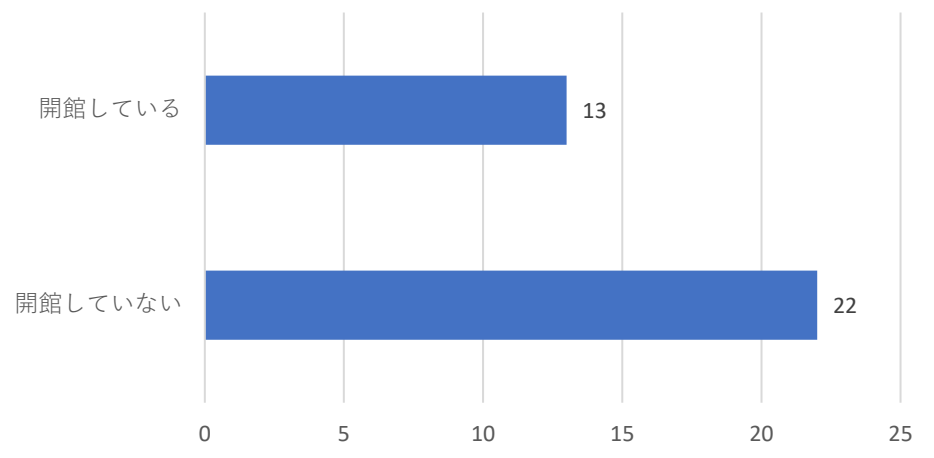
【本の読み聞かせ・一人で読書する時間について】



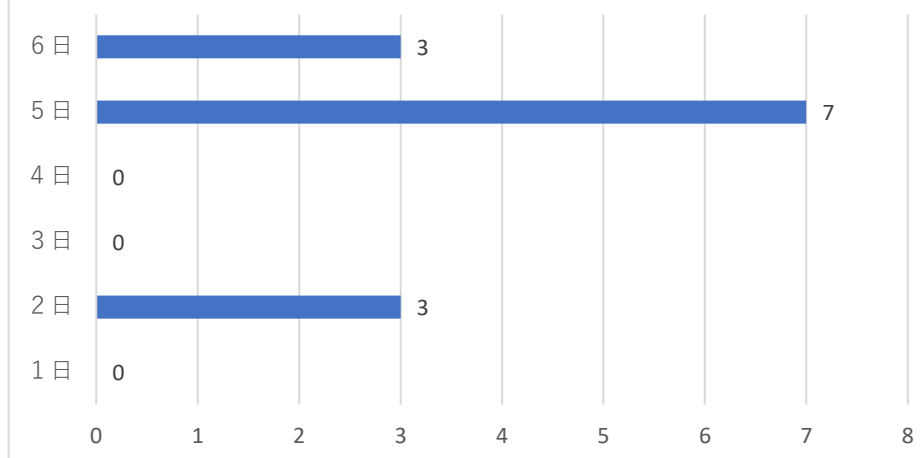
【学校図書館の開館状況について】



放課後の学校図書館の開館について



1週間のうち放課後開館している日数



開館していると回答した13校のうち10校は週5日以上開館しています。

| 【学校】学校図書館を開館するために、工夫していることについて |
|--|
| ・学校司書の勤務日のみ放課後開放している。 |
| ・勤務がない日は図書委員が開館している。 |
| ・司書が学校にいる日を増やすために、月12日の勤務の他に、スクールサポートスタッフとして、週一日勤務している(現状、司書のいる日のみ貸出。水曜は貸出なし)。 |
| ・司書教諭の常駐－2 |
| ・専任司書がいる。 |
| ・学校図書館専門員不在日は図書委員で貸出。 |
| ・図書委員がカウンター当番に来る－2 |
| ・図書委員がパソコンの立ち上げから貸出・返却まで実施している。－2 |
| ・図書委員の活動、専門員がいない授業の時にも担任等が貸出できるよう手続きについて共通理解している。 |
| ・図書館が3階にある。窓が大きく開かないようにした。 |
| ・図書館専門員が出勤していない日の休み時間の貸出等を図書委員会の先生、スクールアシスタントの先生が手伝ってくれる。 |
| ・貸出パソコンの操作方法を提示して、必要な時はどの職員でも操作できるようにしている。学校図書館の割当て日程表を職員室に掲示し、使用状況が分かるようにしている。 |
| ・担当司書が不在の時の教員へのお願い、図書室を施錠しない。 |
| ・昼休みの開室時間にロスがないよう、SSS(スクール・サポート・スタッフ)の方にあらかじめ開錠とパソコン起ち上げをお願いしている。 |
| ・朝休みに開館するため、当番ではない図書委員に協力をお願いしている(人数的に中休みと昼休みの当番しか決められない)。 当番が来ない時は専門員がカウンターにいるようにする。 |
| ・読書活動推進員の勤務の日は放課後も開館している。1年生のオリエンテーションでそのことをお知らせしている。 |
| ・扉をつけない(5月現在扉あるが施錠はしない)。 |
| ・保護者(地域)ボランティアさんと協力。 |
| ・廊下に開館日、貸出開始、長期休館などのお知らせを貼り出している。 |
| ・毎年度新しく購入した本を先生方と児童に手に取って見てもらえるよう、「新着図書展示会」をおこない、学校図書館内で見てもらう機会を作っている。 |

| 【学校】独自の取組について |
|---|
| <<行事・イベントについて>> ・『図書館だより』をclassroomで生徒に配信 ・スマートフォン・タブレットでの蔵書検索 |
| ・ビブリオバトルを行っている。 ・毎年度はじめに1年生生徒に対し、図書館の使い方についてのオリエンテーリングを行っている。 ・「クラス文庫」を設け、毎日の朝読書の時間に活用している。 ・「図書委員会」による様々な活動により読書活動を推進している。 |
| ・近代文学館のパネル展示を毎年行っている(文豪)。 ・委員会費で新聞を購入してもらい、まわしよみ新聞を委員の子に作成してもらっている。 |
| ・新しく購入した本を図書委員におすすめの本として紹介カードを書いてもらったりして、本の情報を発信する機会を増やしている。 ・昨年度は訪問サービスでご指導いただき、大変参考になった。限られた予算の中で、どのように選書し、蔵書構成を見直していくか、いつも悩んでいるので、これからもご指導よろしくお願いしたい。 |
| ・1年から6年まで「読書の時間」がある(1～2年は音読と写し書き、3～6年は図書室で自由読書)。 |
| ・どのような内容が「独自」といえるのかわからない。探調コミュに令和5年度業務報告書が入っているので、ご覧いただければ。 →読書マラソン、おみくじ、教えて好きな本などを実施。 |
| ・ビブリオバトル、ポップの展示等、さまざまなイベントを図書委員の主催で行い、「もう一冊貸出券」を渡している。 |
| ・ビブリオバトルを行っている。 |
| ・校内に支援級が設置されたり、外国つながりの子ども(日本語が困難)が常に数名在籍していることなどから、図書館内に「りんごの棚」を設置。現在出版されているLLブックは絵本もあるが、内容的に小学生向きではないものも多く、もう少し多年齢に亘るラインナップがあるといいなと感じている。 |
| ・分類を学ぶために図書館分類の歌を紹介している。イベントで図書室や読書に興味を持ってもらうように、スタンプラリーを行った。 |
| ・図書館へ来ない生徒にも図書館の蔵書を手に取ってもらうため、図書館以外(ラーニングスペース、高校3年教室内、中学1年廊下など)にも展示をしている。 |
| ・図書館主催の校内ビブリオバトルを実施している。又図書委員会が読書推進の為の企画(図書館便りの発行、本の福袋、俳句で本紹介)を立案、実施している。年度初めには、新入生及び新任教職員向けのオリエンテーションを行っている。 |
| ・図書館イベントを年数回行っている。 |
| ・電子図書館を導入している。 |
| ・電子図書館導入、図書委員のお勧め本紹介等 |

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・年間通して学校図書館で本との出会いがたくさんできるように、4月オリエンテーション・7月平和授業での読み聞かせ・9月校内平和展時に関連図書展示・11月読書週間イベントクラスで参加、給食通信とコラボして献立と本紹介、夏休みと冬休み貸出も全クラス全体で貸出を行っている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・読書に苦手意識のある生徒に、読書のコツや本への興味を促せるような指導ができるよう、読書活動推進員の研修をして頂けるとありがたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・読書ノートの使用(低学年と希望者)、本のリレー(おすすめの本紹介)、新聞バックナンバー切り抜き(パスファインダー準備中)。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・年2回の読書週間の実施。校内・校外のビブリオバトル。中学1年～高校2年までおすすめブックリストの発行。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・毎年児童が秋に読書イベントを計画している。新聞記事に合わせた本の紹介、保護者ボランティアへの本の紹介(話)。分類の説明で使ったカードを常時館内に置き、児童が身近にハンズオンで学べるようにしている。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・様々な分類の本に関心をもってもらうため、読書ビンゴを実施予定(6月)。ビブリオバトルを実施予定。 |
| <p>≪図書館との連携について≫</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・著作権やメディアリテラシーの講座を高学年の子にむけて、やっていただけると有難い。難民センターがあり、通っている児童がいる。蔵書や接し方のアドバイスをいただけると有難い。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・選書について市図書館や各校と連携し、情報を得られるとありがたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・選書や廃棄本の情報交換・アドバイスを受けたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学習パック・よみものパックでは大変利用させていただき、有難い。朝読用に新たに作っていただいたものも有難い。パックの内容の更新等と今後も活用させてもらえるよう、希望する。 |

| |
|---|
| <p>【学校】困っていることについて</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・利用の伸び悩み |
| <ul style="list-style-type: none"> ・予算をすこし増やしていただければと切に思う。ハード面では(蔵書数をふやしたいが)書架が足りない(低学年の子はひくことができない子がいる)。椅子が重いので変えたほうがよいか考えている。電子黒板があればよいなと思う。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・本棚の側板が固定されているうえ、高さが足りず、多くの本が分類通りに並んでいないこと。一番下の段もいっぱい、本が増やせない。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・生徒はタブレットを使用しているので、図書館の情報もそれを利用したいが(Googleなど)、勤務日数も限られているので、マニュアル化してどの学校もできるよう指導してほしい。 |